

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 5 月 22 日 (2014.5.22)

【公開番号】特開 2013-165131 (P2013-165131A)

【公開日】平成 25 年 8 月 22 日 (2013.8.22)

【年通号数】公開・登録公報 2013-045

【出願番号】特願 2012-26715 (P2012-26715)

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/266 (2006.01)

H 0 1 J 37/317 (2006.01)

H 0 1 L 31/06 (2012.01)

H 0 1 L 21/265 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/265 M

H 0 1 J 37/317 B

H 0 1 L 31/04 A

H 0 1 L 21/265 6 0 3 D

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 7 日 (2014.4.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

BC 1 1 6 の内部は、ターボ分子ポンプ（以下、適宜「TMP」と称する。）1 2 9 により常時高真空に維持されているため、BC 1 1 6 に搬入された搬送容器は瞬時に高真空の雰囲気中に到達するとともに、この段階で、搬送容器 1 0 のマスクの位置を第 2 の位置 P 2 へ移動する。マスクの移動完了後、BC 1 1 6 とイオン注入が行われる PC 1 1 8 との間に設けられているゲートバルブ 1 3 0 が開かれ、BC 1 1 6 から PC 1 1 8 の内部へ搬送容器 1 0 がベルトに乗って搬送され、その後ゲートバルブ 1 3 0 は閉じられる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 1】

以上、本発明を上述の各実施の形態を参照して説明したが、本発明は上述の実施の形態に限定されるものではなく、各実施の形態の構成を適宜組み合わせたものや置換したものについても本発明に含まれるものである。また、当業者の知識に基づいて各実施の形態におけるイオン注入方法、イオン注入装置、搬送容器などにおいて各種の設計変更等の変形を実施の形態に対して加えることも可能であり、そのような変形が加えられた実施の形態も本発明の範囲に含まれうる。